

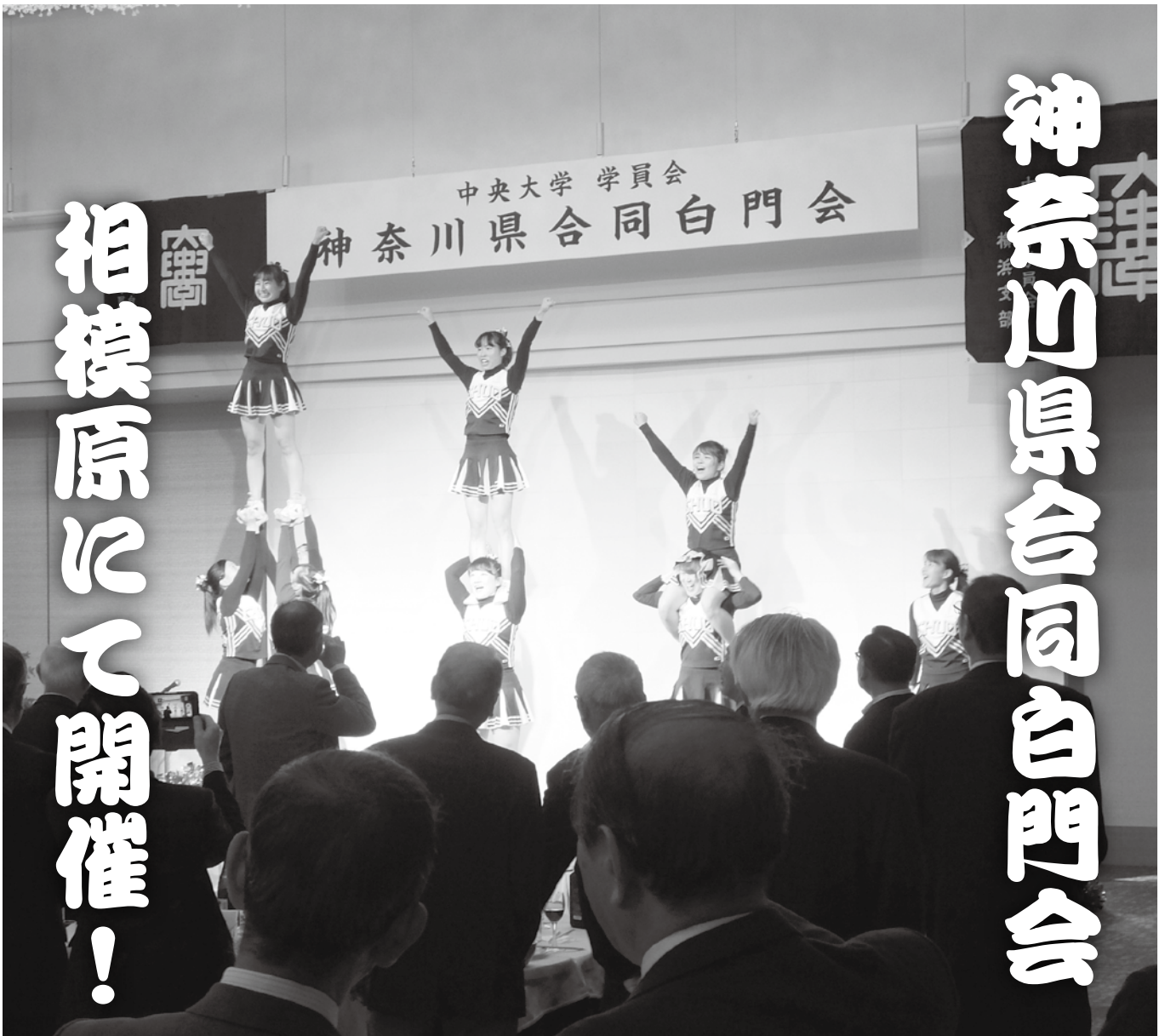


相模原白門会 会報

—相模原支部—

第5号

発行所 中央大学学生会相模原白門会
(相模原支部) 事務局
中澤社会保険労務士事務所内
〒252-0239
神奈川県相模原市中央区中央3-7-1
TEL 042-860-2622
印刷所 株式会社 日相印刷



県合同白門会の開催について

昨年11月11日(土)小田急ホテルセンチュリー相模原大野にて「第17回県合同白門会」を主催致しました。

県内に当支部以下7白門会支部が輪番で主催する合同のイベントです。

今回の県合同白門会は、発足から5年を迎えた相模原支部が担当させていただき、初めての試みで、スタッフ一同かなり慎重に計画を練って臨んだイベントでした。

当支部は諸先輩支部の皆さんにご指導、ご鞭撻を頂き発足した経緯があり、今回の「合同白門会」の主催は各支部の皆さんに恩返しする大変大切なイベントでした。

司会進行役に相模原を中心に活動しているプロのRUUさんに、学術講演会を中央大学小野教授にお願いし、参加者人数百名の規模で行う事が出来ました。

懇親会では中央大学チアリーダー部による演技、各支部の紹介、会終了は参加者全員が肩を組んで輪を作り「惜別の歌」で締めました。

今後の各支部の発展を祈念してイベントを終了致しました。

文章 篠宮 章



相模原白門会
(相模原支部)
事務局長
昭和50年卒

発足五周年 ご挨拶

佐々木 勝 洋

自らを生かす白門会を目指して



相模原白門会（相模原支部）会長
相模女子大学 専務理事
昭和44年卒

同窓生の多くが、自らを生かす場が身近にあるだろうかと戸惑っています。

これに応えるため、創立以来五年間会報を通じて、相模原白門会を同窓生の交流の場であると同時に若い同窓生を積極的に募り、老若の同窓生の一人ひとりが自らを生かすことで相模原の地域文化の進展に寄与するという社会的使命を担う場としようと訴えてきました。

本来、地域文化の進展の担い手は未来の世界を見ることになる若者たちであり、若者の中には私たちの母校に在学する後輩たちがたくさんい

ます。彼らと私たち老若の卒業生が力を合わせ相模原の地域文化の進展のために交流しませんか。

そこから故郷も経歴も異なっており、互いに関係なく生きてきた人たちが、それぞれの能力や知識・体験を生かして地域文化の発展のために、また未来ある後輩たちをサポートするために交流するコミュニティが生まれる力ができてきます。

白門会というコミュニティに多数の若い同窓生と在学生が参加してくださることを心から願っております。

発足五周年 ご挨拶

樋口 武

相模原白門会発足五年にあたり



相模原白門会（相模原支部）副会長
昭和42年卒

相模原白門会が発足五周年を迎えたことを喜び、関係各位のご努力に敬意を表したい。

五周年記念号の紙面を借り、発足に尽力された方々について述べておきたい。

「相模原に中大のOB会を作りたい」と私が最初に声を掛けられたのは、凡そ二〇年前、赤間一之先輩（S三十六年卒・元県議員）からであった。

十数年後、斎藤憲行氏（S四十五年卒）の尽力により、市内の中大出身者が二〇数名集まり、最初の懇親会が開かれた。

その後、会を重ねて平成二十四年二月、松浦靖（S四三年卒）前副会長、篠宮現事務局長、村上現幹事長らの活躍で相模原白門会の発足準備会が開かれた。

この席で「白門会を政治的に利用するのは好ましくない」との発言があり、赤間先輩は「そんな気は毛頭無いが、疑念を持たれるなら遠慮しよう」と発起人を辞退され、斎藤氏も身を引かれたことが悔やまれる。

五年を経過したいま、設立に献身された方々が再び参集される日が待たれる。

発足五周年 ご挨拶

村上博由

五周年の活動を振り返って



相模原白門会 (相模原支部)
幹事長
昭和49年卒

「相模原白門会を作ろうと思っています。一緒にやってもらえませんか。」

6年前のある日、中央大学OBの方々からお誘いを受けました。大学なんて、卒業してからは、卒業証書ももらうくらいで、中央大学の卒業生である自覚は、全くありませんでした。

そして、誘われるままに、設立準備会に行ってみると、まさに中大大好きの皆さんばかり。駅伝に毎年応援に行く人、中大のスポーツに詳しい人、大学野球の年間入場券を持つ

ている人、学生時代に選手で活躍した人、卒業年次や他の白門会にも入っている人、中大で先生をやっている人等々・・・私の知らない白門の世界が、そこにありました。

あれから6年、母校、中央大学への想いを共有した相模原白門会は、5年を経て、だんだんと形になってきました。私も、相模原白門会の旗を持って駅伝の応援に行ったり、新年会やバーベキューで新しい出会いを頂いたり、今では、中大OBの一人として、全く知らなかった白門の世界を楽しませてもらっています。

発足五周年 ご挨拶

中澤洋

五年間の会計活動を通して



相模原白門会 (相模原支部) 会計
昭和42年卒

職員の勤続年数についてよく言われることですが、1年続くと3年は勤続し、3年勤続すると5年勤続、5年勤続すると10年勤続するという経験則があるとのことでした。

いよいよ相模原白門会も10年を目指して活動することになります。振り返りますと白門会を名乗るには百名以上の会員を募ることが条件となっており、これをクリアするのが大変でした。

農耕的な方法による会員募集で、遅々として条件をクリアできず足踏みしていた所、篠宮、松浦、梅津等の勇ましい学員が仲間に入り、一気に百名を達成してしまつたと記憶しています。当時、発足して間もない財政状態の確立していない中、橋本のホテルを借り切り設立総会を行ったわけですが、私は会計を仰せつかったわけですが、私の目から見れば重資

金の使い方が荒く冷や冷やものでした。会発足の準備金として50万円もの借入金がありました。

一時金1万円の5年会員が60名の他90名余程の1年会員から頂いた会費がありましたので、まずは支出を切り詰めて50万円の借入金の返済を行うことにし、初年度に全額返済しました。手元に資金があれば往々にして支出が多くなりますので一気に貧乏所帯にしてしまつた方がいいと思つたからです。従つて、他支部との交流費用は全て自腹でお願いし、途中から半額だけ会から補助することにしました。

各種イベントの運営についても1イベント3万円を目安に抑え、残りには会費制をお願いして乗り切つてきました。

今年は60名の初期入会の5年会費会員が期限を迎え、皆様の御協力により継続していただく事が最大の課題となります。これをクリアすることにより相模原白門会の10年を目指した活動の目鼻がつくのではないかと考えています。

新春ボーリング大会&新年会

安藤和次郎

二〇年振りのボーリングと新年会

地域の発展を願っての5周年おめでとございます。

毎年新年会には情報交換を期待し参加しています。

ボーリング大会は昨年見物し、今年には思い切って恥を承知で参加しました。20年振りで最初はガーターの連続でスタート、先が思いやられたが、少しずつなれてきて、その後はガーターとは無縁となった。マイペースで無心で投げた。2ゲームの最終フレームで奇跡が起きたから不思議だ、何が起こるか分からない世相の如く、(少しオーバーかな)パンチアウトなるものが出た、無欲で投げたもので、生涯初のこととなった。パートナーの高校後輩の金子輝司さんも共に最終フレームでのパンチアウトで新年のスタートとなった。

新年会での乾杯のビールの味は格別でした。

この会も毎年少しずつ馴染みの方も増えて来た。今年には特に同じテンプルに郷土史の知合いの知人から聞いていた同級生にお会いでき自己紹介し名刺の交換をした方がいた。聞けば仕事の合間にボランティアで、お得意のオーディオで各施設を廻っておられることを聞き今年の市民桜まつりに和歌山県田辺市を毎年招待し、市長らと歓迎の交流会を長年開催し、白門会の皆さんにも地域協力で参加載っています。今年で18回目の懇親会で演奏して貰い大変盛り上がりお陰で友好交流ができ、新年会での出会いのお陰と今年は大変意義ある「ボーリング大会と新年会」の出会いに感謝します。

毎年大好評のバーベキュー大会

井上万里那

夏の終わりのバーベキュー



相模原白門会 (相模原支部) 会員
平成6年卒 井上大輔 さん ご息女



相模原白門会 (相模原支部) 会員
昭和37年卒



私が中央大学白門会相模原支部のバーベキューに初めて参加したのは、確か小学5年生の時でした。父から「大学のOB会のバーベキューに行かない？」と誘われ、最初は内心「知らない人ばかりで嫌だなあ」と思ったのだけれど、「美味しいお肉が待っているよ」と言われ、幼い私はお肉の誘いを断る事ができず参加することにしたのでした(笑)。

バーベキュー場では、木藤さんから中央大学の「Cマーク」の入ったエプロンを渡されました。このエプロンは木藤さんがこの日のために作成されたそうで、その完成度の高さに驚いてしまいました。早速、木藤さんのエプロンを身に着け、野菜を洗ったり、切ったり、汗だくだくになりながら一生懸命、木藤さんや母



からのお手伝いをしました。作った豚汁を皆さんが美味しいと言って食べてくれているのを見てほっとしたのを記憶しています。そして、私のメインイベント(！?)の杉山さんからのお肉は、想像以上に柔らかくて、本当に美味しくて、疲れも忘れるほどでした。

「Cマーク」のもと、多くの方々が集い、語らい、交流するこのバーベキュー大会は、今では、私にとって夏の終わりの大切なイベントとなっています。次回もよろしく願います。

箱根駅伝応援

松田 清治

第九四回箱根駅伝

”名門中大・復活懸け”!! 本戦出場!!

正月のビッグイベント、「第94回箱根駅伝2018」は、1月2日(火)・3日(水)快晴の下、開催されました。

中央大学相模原白門会は、箱根駅伝の応援を年間活動の一環として、位置づけており、1月2日(火)

第3区、戸塚〜平塚間の茅ヶ崎海岸(国道134号線)で行いました。

応援の場所は、3区の15キロメートル付近で、コースの正面に富士山が見えるテレビ中継ポイントで、各大学の応援者が幟旗を掲げ応援ムードを盛り上げていました。

当支部は、18名が参加し、「中央大学・相模原会」、「中央大学駅伝を強くする会」の幟旗を掲げて茅ヶ崎支部の方々と共に応援しました。

中央大学の第3区は、中山顕選手が午前11時頃、応援ポイントを通過し、大勢の応援者が「中山頑張れ」を連呼し、激励しました。中山選手が好走し、一桁順位を確保し、以後のレース展開と復路に大いに期待を持たせてくれました。

応援後は、茅ヶ崎駅へ向かう途中の公園で、参加者全員の記念写真を撮り、中大の復路の健闘を祈りつつ、新年会を行い応援参加者の親睦と絆を深めました。

相模原白門会は、「箱根駅伝の応援」を正月の恒例としており、是非、多くの会員皆様のご参加をお待ち致しております。

ご一緒に母校、中大を応援しましょう!

ご一緒に母校、中大を応援しましょう!

ご一緒に母校、中大を応援しましょう!

ご一緒に母校、中大を応援しましょう!

ご一緒に母校、中大を応援しましょう!



相模原白門会 (相模原支部) 会員
平成22年卒



主な活動ご紹介



地域活性



相模原市民さくらまつり（4月または5月）



境川クリーンアップ作戦（7月）



橋本七夕まつり（8月）

母校応援



ホームカミングデイ（10月）



箱根駅伝応援（予選会10月・本大会1月）



親睦交流



総会・総会記念講演会・懇親会（6月）



バーベキューパーティー（8月）



ゴルフコンペ（夏・秋複数回開催）



新年会・新春ボウリング大会（1月または2月）



定例会



定例事務局会議



定例役員会議

合同白門会、各支部への参加も積極的におこない、母校・地域活性のネットワークを広げています。

中央大学 相模原白門会を応援します！



暮らしの電気から工場の電気まで、
デンキを見つめるホンマです。

エコアクション21認証取得
株式会社 **ホンマ電機**

取締役会長 本間 俊三

デンキのことなら何でも！

TEL.042-746-1616

〒252-0302
神奈川県相模原市南区上鶴間1-12-1
TEL 042-746-1616(代)/FAX 042-747-3463
ホームページ <http://honma-denki.jp/>

業務用食器・調理器具専門

有限会社 **小島陶器**

相模原市中央区上溝5-1-21

Tel 042-761-5168 / FAX 042-762-0337

■取扱商品■

陶磁器、硝子器、ステンレス、鉄器、プラスチック、漆器、木製品、テーブル、椅子、ユニフォーム、料理道具、調理器具



手造りハム ソーセージ
CRUYFF
SAGAMIHARA

楽天ランキングペーコン部門
1位 獲得

有限会社
杉山精肉店

相模原市中央区上溝1482
電話 042-769-5076



第67回 平成30年8月3・4・5日

橋本七夕まつり実行委員会
事務局
相模原市緑区橋本6-19-12
グランツェン205号
TEL 042-772-2543
FAX 042-703-5554

実行委員長
江成 藤吉郎

東京総合保険サービス

損害保険トータルプランナー

篠宮 章

〒193-0823 八王子市横川町536
TEL 042-628-2811
FAX 042-628-2813

- 取扱保険会社
- 三井住友海上火災保険(株)
 - あいおいニッセイ同和損害保険(株)
 - 東京海上日動火災保険(株)
 - 損害保険ジャパン日本興亜(株)
 - AIU損害保険(株)
 - au損害保険(株) (ペット保険)
 - 三井住友海上あいおい生命保険(株)
 - 日本生命保険(株)
 - 東京海上日動あんしん生命保険(株)
 - メットライフ生命保険(株)
 - ひまわり生命保険(株)

就業規則、給与計算、助成金、社会保険導入対応等

中澤社会保険労務士事務所

相模原市中央区中央3-7-1

Tel 042-860-2622

特徴

- 1 トラブルを予防しつつ人件費を節減。実績500社以上！
- 2 豊富な専門知識とノウハウを生かしてアドバイス

社会福祉法人 **三光会**
特別養護老人ホーム **大野北誠心園**

地域との繋がりを育み
誰からも愛される
施設を目指して

〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺5-24-13
TEL (042)758-7733
FAX (042)758-7737
<http://www.sankokai.com>



日相出版の自費出版は

ソフトカバー
寄贈・PR・記念用等に
必要部数のみ
出版するだけ！

＋ 在庫が切れたら、注文後、1冊から製造する

ペーパーバック
POD出版サイトで
費用不要で半永久的に
出版・販売ができる！

NISSO Publishing
042-748-6020

新規会員募集

※是非、ご紹介もお願いします。

入会は、①公式ホームページまたは②FAXにてお申送ください。

①公式ホームページ



<http://www.gakuinkai.com/sagamiharahakumon/> にアクセス

もしくは で検索

②FAX



お手数ですが、一度、042-860-2622までお電話でお問合せください。

Chuo University



Sagamihara

相模原から世代を越えて、お互いに親睦をはかり、
母校を盛上げ、地域を活性化させましょう！